

武漢事務所週刊ニュース (2016. 4. 9-2016. 4. 15)

2016 年 4 月 9 日

### 湖北省製造の大型トラクターが初披露

ブランド「上海トラクター」の新作発表会及び京山出荷稼働式典が京山超能農業装備産業園で行われ、全国各地からディーラーが集まり、湖北省初の自主生産大型トラクター発表の場に立ち会った。

当該プロジェクトは上場企業広東超能集団が投資し、施設を建設しながら別の工場をレンタルして小規模生産をしていた。計画としては投資額 20 億人民元で自主ブランド「上海」シリーズの農業設備を生産する予定。一期プロジェクトは 10 億人民元を投資して 40-240 馬力の中型、大型トラクターを作り、年内に生産開始してから、各型ブランドトラクターを 3 万台生産する。二期プロジェクトは投資額 10 億元、収穫機械、水畑機械、知能植物保護機械などの農業機械を生産する。3 年以内に施設が竣工し、生産高は 50 億元に達する予定。

2016 年 4 月 9 日

### 中国初の自動運転自動車が光バレーで運行開始

昨日、武漢光バレーが初めての無人運転自動車モデル運営コースを設け、光バレー広場から武漢未来科技城までの片道約 17 キロで運行開始した。武漢光庭データの比亞迪新エネ自動車 10 台が無人運転テストに投入され、無人運転自動車の市場化運営のため前期の

試運転を始めたという。



自動運転の様子

2016年4月15日

武漢－南通への新幹線を新規増加

5月15日から全国の鉄道ダイヤが大きく調整され、武漢鉄道局は42.5往復列車を増やし、漢口－南通の新幹線を含む、5往復の朝と夜に運行する北京－広州の間的高速列車を増やし、武漢地区か

ら荆門、襄陽への直行列車を出し、更に中小都市間の交通の便利を図っている。

新規開設した列車の中に、長距離列車 22 往復、そのうち漢口-南通の 2 往復列車は初運行で、所要時間は約 5 時間 40 分となり、今までの列車より 8 時間以上短縮した。更に 5 往復朝と夜に北京-広州を走る高速鉄道を新規増加した。例えば北京西-漢口の G509 号車は 19:00 に北京西を出発し、23:24 に漢口到着、僅か 4 時間 30 分しかかからない。利用率がもっとも高いシーズンは更に高速列車を増やして運輸力を高め、例えば榮成から武漢に向かう列車は全コースで 9 時間 59 分しかかからない。それから湖北省内の短距離列車も 11.5 往復増やし、主に武漢から荆門、襄陽、宜昌、十堰へ運行する。